

フィン・ブレンド（奇数月分配型）

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第1期（決算日2023年11月8日） 第2期（決算日2024年1月9日） 第3期（決算日2024年3月8日）

作成対象期間（2023年9月11日～2024年3月8日）

第3期末（2024年3月8日）	
基準価額	10,516円
純資産総額	287百万円
第1期～第3期	
騰落率	5.7%
分配金（税込み）合計	50円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィン・ブレンド（奇数月分配型）」は、2024年3月8日に第3期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<645095>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

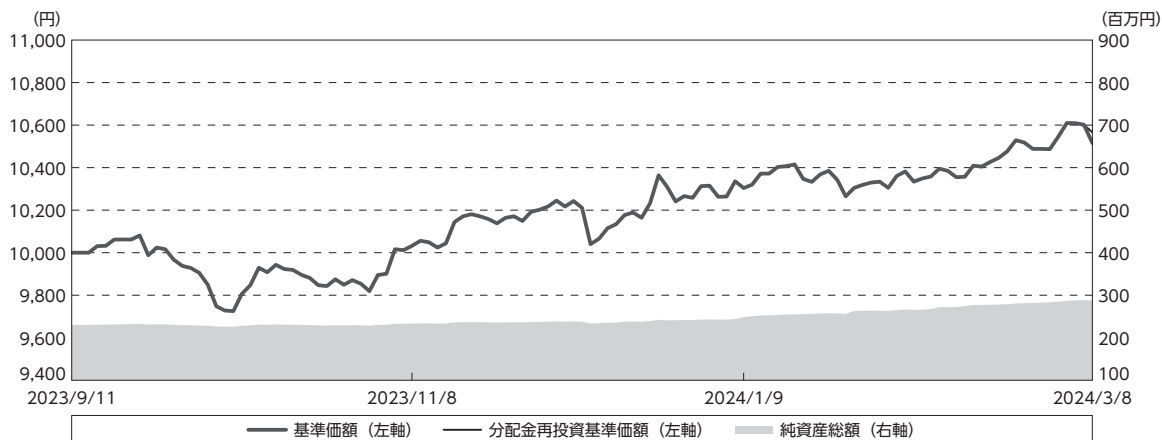
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年9月11日～2024年3月8日)



設定日: 10,000円

第3期末: 10,516円 (既払分配金 (税込み) : 50円)

騰落率: 5.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行なう5つの投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、各資産の基準価額への影響度合いが、5資産の間で概ね均等になるような資産配分戦略 (ファイン・ブレンド戦略) を用いて、基準価額が、特定の資産から受ける影響を抑えることをめざしています。期間末における各資産の組入比率および当作成期間における投資対象先ファンドの騰落率は以下の通りです。

資産	投資対象先ファンド	組入比率	騰落率
日本国債	日本超長期国債マザーファンド	33.6%	△0.2%
高金利海外債券	高利回りソブリン債券インデックスファンド	19.9%	7.0%
グローバル高配当株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	11.3%	11.5%
グローバルREIT	グローバル・リアルエステート・ファンド (適格機関投資家向け)	8.7%	8.2%
金	ゴールド・マザーファンド	22.4%	13.1%

<値上がり要因>

「高利回りソブリン債券インデックスファンド」、[グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド
アンヘジド・クラス]、「グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）」、「ゴール
ド・マザーファンド」の基準価額が値上がりしたこと。

<値下がり要因>

「日本超長期国債マザーファンド」の基準価額が値下がりしたこと。

1万口当たりの費用明細

(2023年9月11日～2024年3月8日)

項 目	第1期～第3期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	55 (20) (33) (2)	0.541 (0.195) (0.325) (0.022)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンド の管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作 成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介 人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作 成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取 引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用等)	5 (0) (0) (5)	0.050 (0.001) (0.002) (0.046)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の 平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券 等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係 る費用 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	60	0.592	
作成期間の平均基準価額は、10,172円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

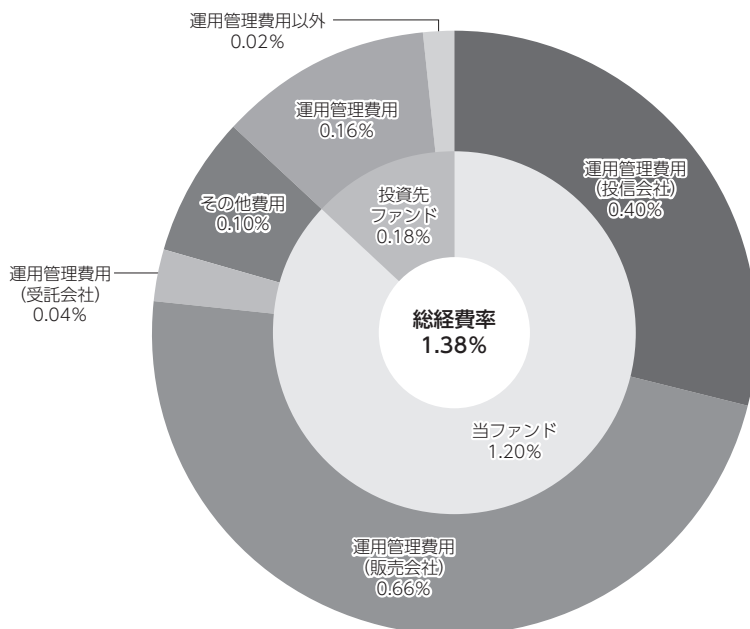
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.38
①当ファンドの費用の比率	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.16
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

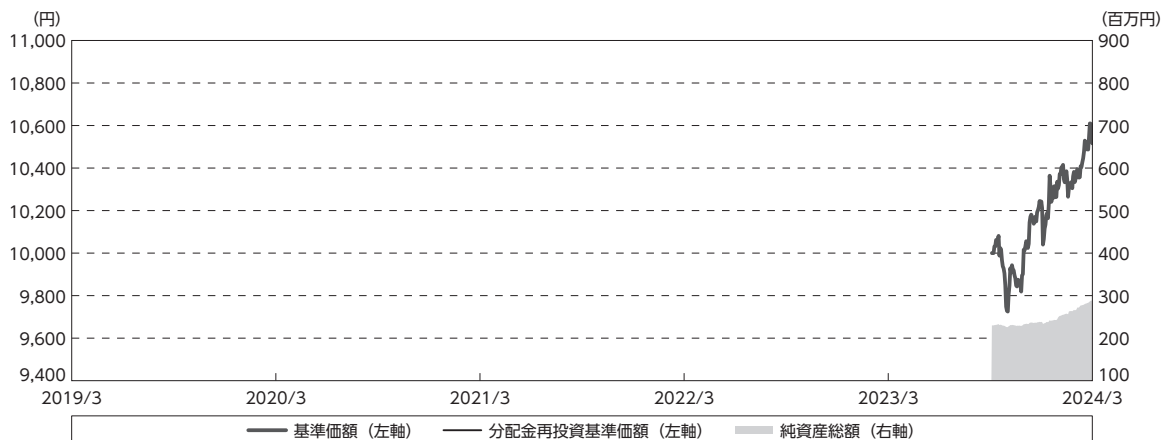
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2019年3月8日～2024年3月8日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2023年9月11日です。

	2023年9月11日 設定日	2024年3月8日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,516
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	50
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.7
純資産総額 (百万円)	230	287

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年3月8日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(2023年9月11日～2024年3月8日)

投資環境

(市況)

日本国債市場はほぼ横ばいとなりました。期間の初めから2023年10月にかけては、日銀の金融政策決定会合の結果などを受け早期の金融政策正常化観測が広がり、軟調に推移しました。その後、2023年末にかけては、米国の金利低下の影響が波及した事や、国債需要が堅調であったことから、概ね上昇傾向で推移しました。しかし、年明け以降においては、日銀によるマイナス金利政策解除に対する警戒感がさらに高まったことなどにより、国債市場は下落傾向で推移し、期間を通して見ると一進一退の展開となりました。

高金利海外債券市場では、先進国債券市場、新興国債券市場ともに上昇しました。先進国債券市場については、期間の初めから2023年10月にかけて、欧米の金融引き締め長期化観測が意識され債券が売られる展開となりました。その後、年末にかけては、各国で主要な経済指標によりインフレ鈍化傾向が確認され、早期の利下げ期待が高まり、国債市場も大きく反発しましたが、年明け以降は、行き過ぎた利下げ期待を是正する形で一転して下落するなど、金融政策の動向を睨みながらの相場展開となりました。新興国債券市場においては、期間の初めから10月にかけては、主要先進国での金利上昇に追随する形で下落傾向を示しましたが、その後、期間末にかけては、米国情債金利の低下や株価上昇によるリスク選好度の上昇などに下支えされ、堅調に推移しました。

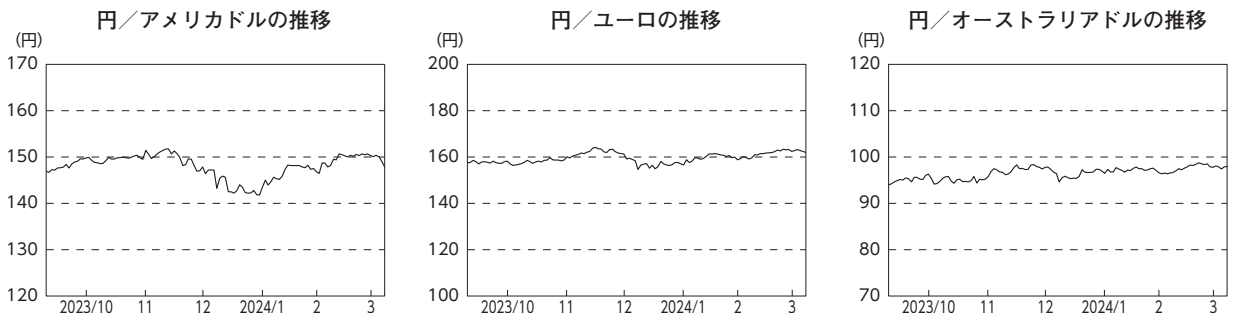
グローバル高配当株式市場は上昇しました。期間の初めから2023年10月にかけては、欧米の長期金利の上昇が重しとなり、軟調に推移しました。その後、期間末にかけては、主要先進国におけるインフレ圧力鈍化の兆しや、米国でのハイテク株高などの要因が相場をけん引し、ほぼ一本調子で上昇を続けました。

グローバルREIT市場は上昇しました。期間の初めから2023年10月にかけては、主要先進国において金融引き締め長期化観測が広がり、長期金利が上昇したことが嫌気され大幅に下落しました。その後、年末にかけては、インフレ圧力の鈍化などを背景に、長期金利が低下傾向に転じたことから買戻しの動きが広がり、大幅に反発しました。年明け以降は、早期利下げ期待が後退し、長期金利が再び上昇に転じたことから上値の重い展開となりました。

金市場は上昇しました。2023年9月など、米国の長期金利が大きく上昇した局面では、金に対する投資妙味が薄れ、金相場が下落する場面も見られましたが、米国の長期金利の低下や、中東情勢の緊迫化などが下支えとなり、期間を通して見ると概ね堅調に推移しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨 (対円) は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（2023年9月11日～2024年3月8日）

（当ファンド）

ファイン・ブレンド戦略に基づき、投資対象とする各資産の基準価額への影響度が均等となることをめざして、毎月末の株式市場、債券市場、為替市場、REIT市場、金市場のボラティリティ（価格変動性）および相関関係の状況を勘案して配分比率を決定しました。配分比率は、日本国債が34%～40%、他の4資産は概ね8%～23%の範囲で推移しました。

当該期間における実績リスクへの各資産の寄与度（基準価額の変動率への影響度）は、日本国債が45%と高めになり、高金利海外債券、グローバルREITがそれぞれ20%、19%となった一方で、グローバル高配当株式、金がそれぞれ12%、4%と低めになるなど、寄与度が一部資産へ偏りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年9月11日～2024年3月8日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2023年9月11日～2024年3月8日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第1期	第2期	第3期
	2023年9月11日 ～2023年11月8日	2023年11月9日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年3月8日
当期分配金	—	—	50
（対基準価額比率）	—%	—%	0.473%
当期の収益	—	—	50
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	43	303	516

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、投資対象先ファンドを通じて、5つの資産へ分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。各資産への配分については、ファイン・ブレンド戦略に基づき、各資産のリスク水準に加え、各資産間の相関性なども考慮して、各資産の基準価額の影響度が均等となることをめざして、資産配分を決定する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

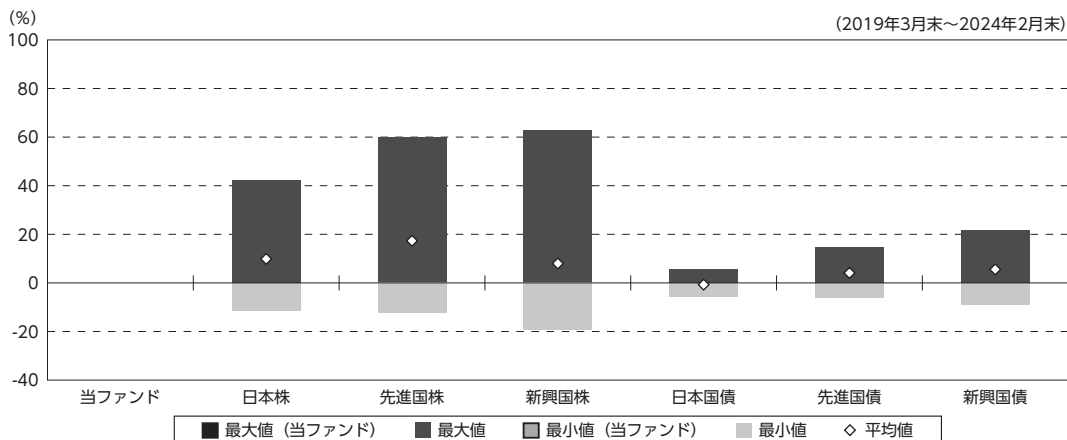
2023年9月11日から2024年3月8日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2023年9月11日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券などに投資を行なう投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	<p>「日本超長期国債マザーファンド」 受益証券</p> <p>「高利回りソブリン債券インデックスファンド」 受益証券</p> <p>「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス」 受益証券</p> <p>「グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）」 受益証券</p> <p>「ゴールド・マザーファンド」 受益証券</p> <p>上記の投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
運用方法	主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券などに投資を行なう投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。各資産への配分については、ファイン・ブレンド戦略に基づき、各資産のリスク水準に加え、相関性なども考慮し、基準価額の影響度が均等となることをめざして、資産配分比率を決定し、定期的に見直します。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時に、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 なお、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
最小値	—	△11.4	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8
平均値	—	9.9	17.3	8.0	△0.7	4.1	5.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年3月8日現在)

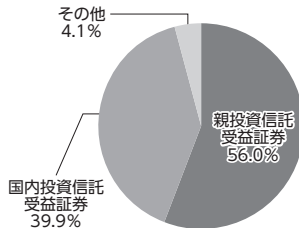
○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
	%
日本超長期国債マザーファンド	33.6
ゴールド・マザーファンド	22.4
高利回りソブリン債券インデックスファンド	19.9
その他	20.0
組入銘柄数	5銘柄

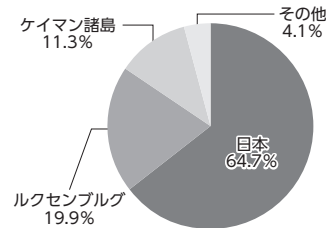
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

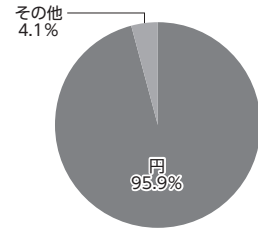
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第1期末	第2期末	第3期末
	2023年11月8日	2024年1月9日	2024年3月8日
純資産総額	233,280,434円	248,371,611円	287,614,617円
受益権総口数	232,547,819口	241,051,046口	273,495,736口
1万口当たり基準価額	10,032円	10,304円	10,516円

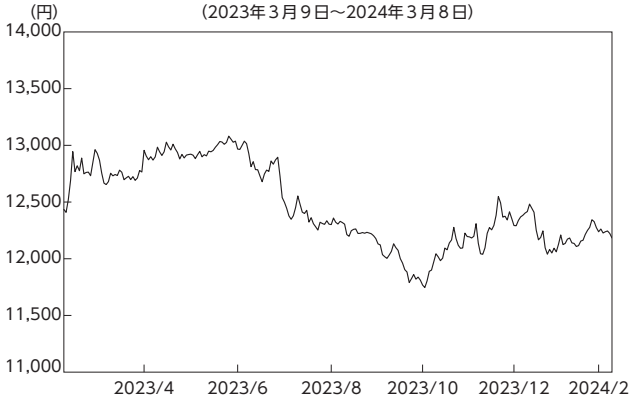
(注) 当作成期間(第1期~第3期)中における追加設定元本額は44,833,044円、同解約元本額は1,337,308円です。

組入上位ファンドの概要

日本超長期国債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年3月9日～2024年3月8日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年3月9日～2024年3月8日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用(他)	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、12,440円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2024年3月8日現在)

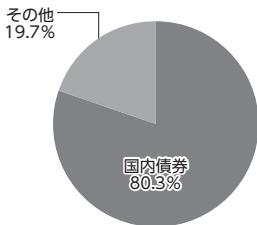
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	第186回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	8.6
2	第184回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	7.8
3	第81回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	6.1
4	第185回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	6.0
5	第67回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	5.9
6	第64回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	5.6
7	第65回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	5.6
8	第66回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	5.6
9	第68回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	4.9
10	第62回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	4.9
	組入銘柄数		15銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

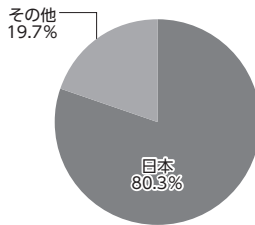
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

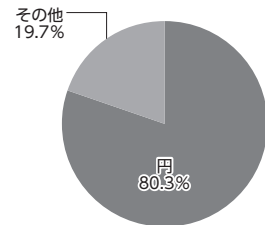
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

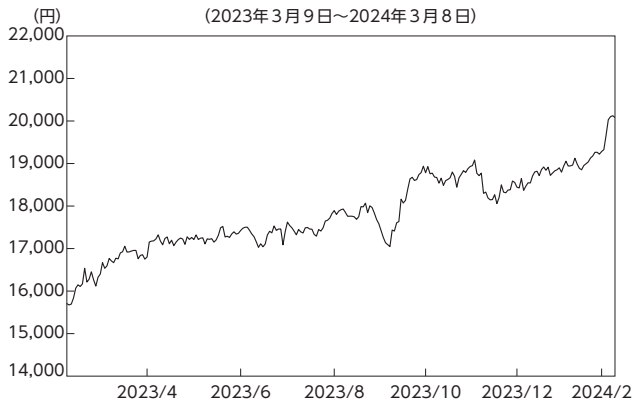
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

ゴールド・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年3月9日～2024年3月8日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年3月9日～2024年3月8日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.005 (0.005)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用他)	2 (2) (0)	0.010 (0.010) (0.000)
合計	3	0.015

期中の平均基準価額は、17,947円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2024年3月8日現在)

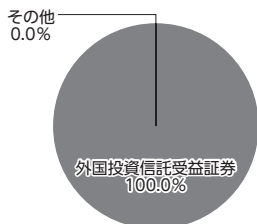
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ISHARES GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	44.9
2	SPDR GOLD MINISHARES TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	44.4
3	ISHARES GOLD TRUST MICRO-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	7.1
4	SPDR GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	3.6
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
	組入銘柄数		4銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

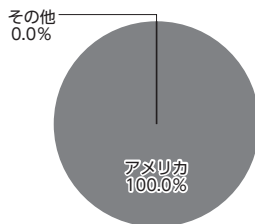
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

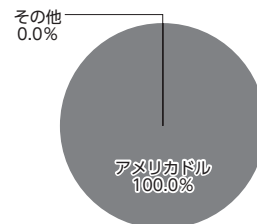
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

高利回りソブリン債券インデックスファンド

当運用報告書作成時点において、開示できる情報はございません。